

令和6年10月

# 和歌山県の財政状況

市場公募債 I R 資料



和歌山県財政課

Wakayama Prefecture  
Finance Division



# CONTENTS

1. 和歌山県の概要
2. これからの和歌山県
3. 和歌山県の財政状況
4. 市場公募債発行計画

# 1

## 和歌山県の概要

和歌山城（和歌山市）

和歌山市の中心にある虎伏山の頂上にそびえ、白垂の三層からなる大天守閣を持つ城。8代将軍吉宗、14代将軍家茂を輩出した紀州藩紀州徳川家の居城で、現在の天守閣は1958年（昭和33年）に再建されました。天守閣からの景色は見晴らしが良く、和歌山市街や周辺の山々、紀伊水道まで360度ぐると見渡すことができます。



面積

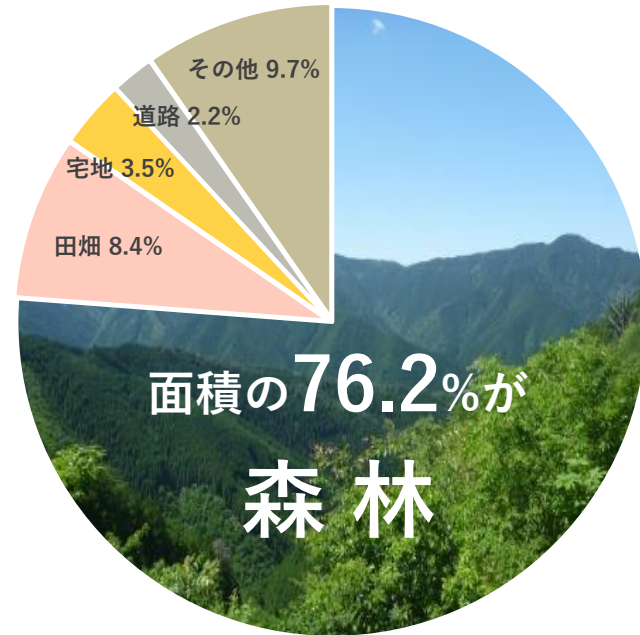
4,725km<sup>2</sup>

人口 ※R2.10.1現在(令和2年国勢調査)

923千人

県内総生産(名目) ※令和3年度県民経済計算

37,651億円



※2020年農林業センサスほか

## 和歌山県のシンボル



県の花「ウメ」



県の木「ウバメガシ」



県の鳥「メジロ」



県の魚「マグロ」

# 和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

- 和歌山県は、恵まれた風土を活かした観光資源が豊富です。
- 自然、文化、食など、それぞれのエリアの特性に応じた魅力があります。

## 和歌山市近郊エリア

大阪に近い和歌山市は、江戸時代の史跡や日本らしい名勝地を楽しめます。海の幸や和歌山グルメも人気です。

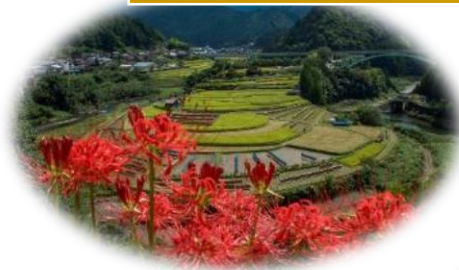


## 高野山エリア

真言宗の総本山「高野山」エリアは、豊かな自然と荘厳な寺院が共存する厳かな雰囲気が漂います。

## 有田・日高エリア

県央に位置して、海と山の恵みを受ける風光明媚な土地です。特産品のみかんやクエなどの食も満喫できます。



## 白浜・串本エリア

関西を代表するマリリゾートです。レジャーのほかに、太平洋の偉大さを感じる絶景スポットも楽しめます。



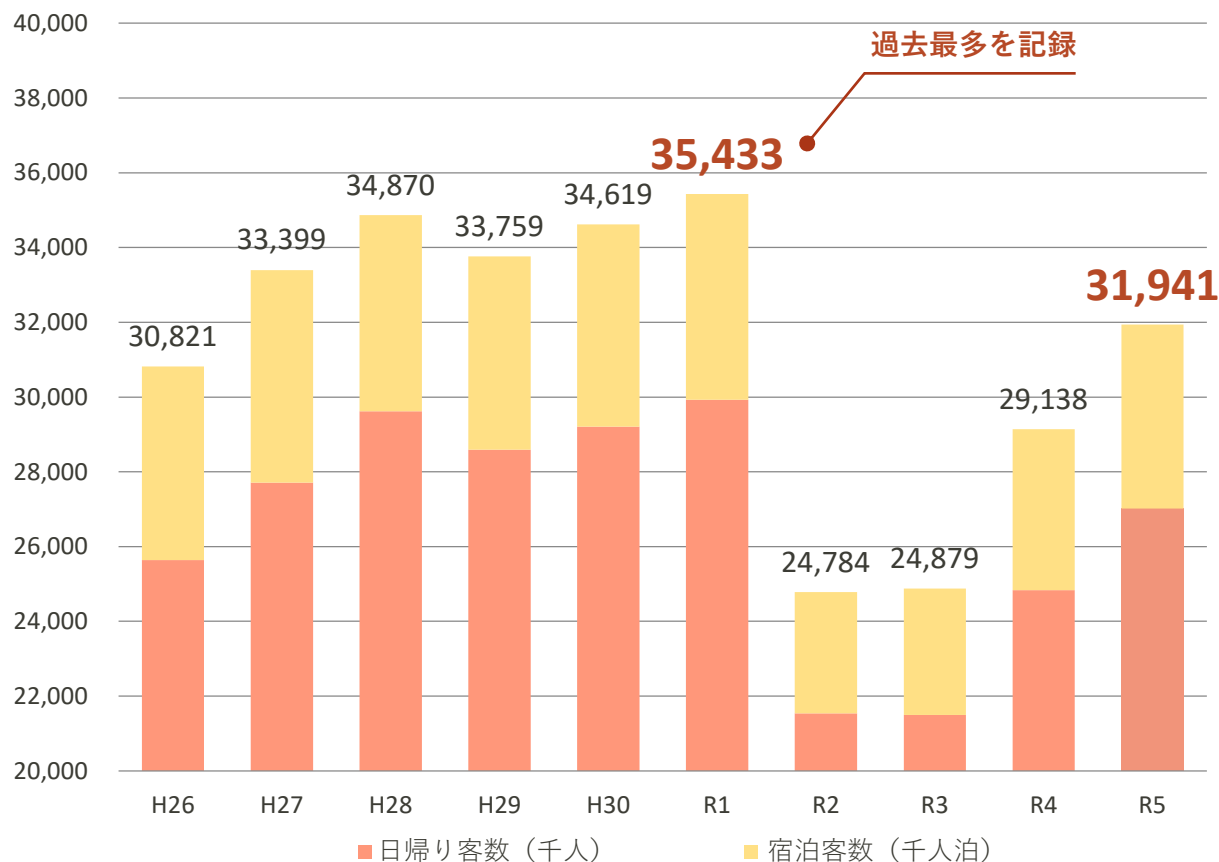
## 熊野エリア

大自然のパワーあふれる「世界遺産」と「熊野三山」を含み、歴史ある温泉も名物のひとつです。



# 和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

- 令和5年は、観光入込客総数・日帰り客数・宿泊客数いずれも前年より増加しました。
- 観光客総数のコロナ禍前の対元年比では、夏季は上回り、年末年始も9割近くまで回復しています。
- 令和元年に過去最高を記録した外国人宿泊客についても、対元年比の約8割まで堅調に回復してきています。



## 令和5年観光客動態調査

観光入込客総数

約 **31,941** 千人  
(前年比 109.6%)

・日帰り客数

約 **27,019** 千人  
(前年比 108.8%)

・宿泊客数

約 **4,922** 千人泊  
(前年比 114.4%)

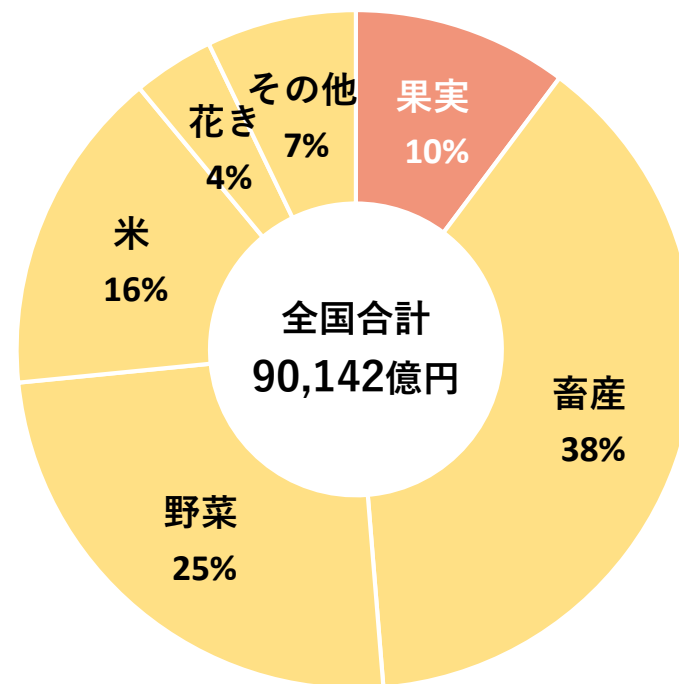
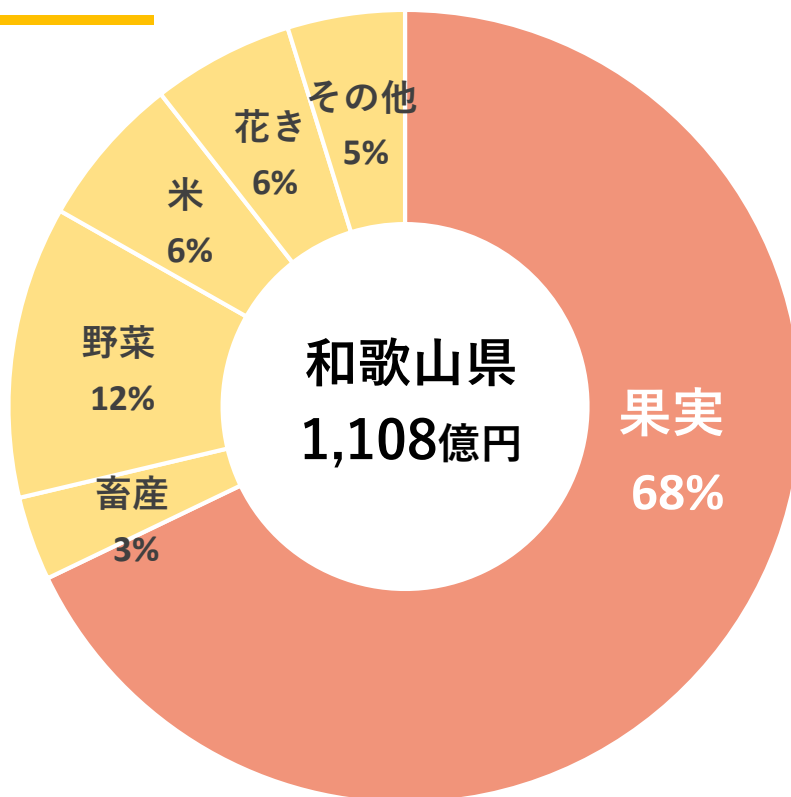
うち外国人宿泊客数

約 **383** 千人泊  
(前年比 923.2%)

# 和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

- 本県では、恵まれた自然条件を活かした農林水産業が盛んです。
- 農業においては、**果実の構成比が農業産出額の約7割を占めており**、全国に比べて特異な構成となっています。
- このため、**和歌山県は「果樹王国」とも**言われています。

## 農業産出額



果樹収穫量の全国シェア

以下は全て**全国第1位**



みかん

**21.1%**(143,900 t)

※令和5年産作物統計



はっさく

**72.2%**(17,687 t)

※令和3年産特産果樹生産動態等調査



うめ

**63.9%**(61,000 t)

※令和5年産作物統計



山椒

**56.3%**(283 t)

※令和3年産特産果樹生産動態等調査



かき

**20.8%**(38,900 t)

※令和5年産作物統計




いちじく

**18.2%**(1,844 t)

※令和3年産特産果樹生産動態等調査



A scenic sunset over a bay. The sun is low on the horizon, casting a warm orange glow across the sky and reflecting on the water. In the foreground, a person is silhouetted in a small boat on the water. In the background, a large, dark cliff rises from the water, topped with a white lighthouse. The overall mood is peaceful and serene.

# 2 これからの和歌山県

天神崎（田辺市）

田辺湾の北側に突き出た美しい岬、天神崎。日和山を中心とした緑豊かな丘陵部と干潮時に現れる平らな岩礁が特徴で、陸と海の動植物が共存し、森、磯、海が一体となった独自の生態系を形成しています。

市民の寄付で自然や歴史的建造物を保全する「ナショナルトラスト運動」の先駆けとしても知られています。

# 和歌山県の将来像

- 本県は、2017年に、10年後の未来を展望しためざす将来像と、その実現に向けて取り組む基本的な方向を定めた「和歌山県長期総合計画」を策定しました。
- 本計画がめざす将来像として、ひと、しごと、いのち、くらし、地域の5つの施策体系で将来像に向けた取組を進めています。

## 和歌山県 長期総合計画 2017年度 ▶▶▶ 2026年度

### めざす将来像

『世界とつながる愛着ある元気な和歌山』

- I 未来を拓くひとを育む和歌山
- II たくましい産業を創造する和歌山
- III 安全・安心で尊い命を守る和歌山
- IV 暮らしやすさを高める和歌山
- V 魅力のある地域を創造する和歌山



### 将来像に向けた取組 (新たな施策体系)

- I ひとを育む
- II しごとを創る
- III いのちを守る
- IV くらしやすさを高める
- V 地域を創る



### 未来を拓くひとを育む和歌山

子育て施策をより一層充実することで、県民みんなが子どもを産み育てやすいと感じ、子どもたちが将来の夢や目標の実現に必要な資質・能力を身につけるとともに、県民みんながそれぞれのライフスタイルに応じて楽しく元気に活躍し、故郷への愛着と誇りをもち続けている和歌山をめざします。



### たくましい産業を創造する和歌山

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに応応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだし和歌山をめざします。



### 安全・安心で、尊い命を守る和歌山

地震・津波・風水害などの災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられ、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざします。



### 暮らしやすさを高める和歌山

良好な生活環境を保ち、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や省エネルギー、再生可能エネルギー利用を進めるとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子どもたちが育った環境に左右されことなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざします。



### 魅力のある地域を創造する和歌山

人口減少等が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進します。また、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地域づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げるなど、魅力的な地域を創造する和歌山をめざします。

- 令和6年度の「世界遺産登録20周年」、令和7年度の「大阪・関西万博」を契機として、積極的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客に取り組んでいます。



### 【ロゴデザインについて】

訪れる人にとって他地域（都市部）にはない、明確な魅力（＝驚き）を表現するため「知らないオドロキが色々色々」をコンセプトにビックリマークを付したロゴとしました。

また、ビックリマークの数や色は、本県の様々な魅力を表現し、その時々メディアや表現によって「！」の数や色を自由に変えるとともに、ビックリマークの色も、日本の伝統色としています。



### 世界遺産登録20周年を契機とした取組

- \* 熊野古道リレーウォーク等「令和の熊野詣」を展開
- \* 世界遺産登録社寺等における特別企画（ライトアップ等）
- \* 県内全域でのキャンペーン企画の展開
- \* 鉄道等と連動した県内周遊企画の実施

等



### 大阪・関西万博を契機とした誘客促進

- \* 魅力的な観光コンテンツ等の充実
- \* 万博と組み合わせた周遊の提案
- \* 博覧会協会と連携した誘客プロモーションの実施
- \* クルーズ船・国際線チャーター便の誘致

等



## 取組事例のご紹介② ～宇宙産業の振興～

- 日本初の民間小型ロケット発射場「スペースポート紀伊」から、今年3月に「カイロスロケット初号機」が打上げられました。2号機の打上げ準備も進められており、ロケット打上げにより、大きな経済波及効果が見込まれています。
- 公式見学場等を活用し打上げ見学者の誘客を進めるとともに、中長期的には宇宙産業の集積や県立高等学校での宇宙教育など人材育成にも取り組んでいきます。

### 『日本初』民間小型ロケット発射場の概要

事業内容：超小型衛星の「宇宙宅配便」事業

事業者：スペースワン(株) ※

事業地：和歌山県串本町

※主な株主：キャノン電子(株)、(株)IHIエアロスペース、清水建設(株)、  
(株)日本政策投資銀行



発射場立地の経済波及効果は、

**10年間** で **670億円**

## 取組事例のご紹介③ ～カーボンニュートラルの推進～

- GX投資を呼び込むため、成長産業の立地条件整備・人材確保等に向け部局横断でプロジェクトを推進するとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいきます。
- カーボンクレジットの創出に向けた取組など脱炭素と産業を組み合わせることで脱炭素先進県を目指しています。

### I 再生可能エネルギーの普及

#### ◆ 脱炭素化推進

県有施設への再エネ設備などの導入や、市町村が行う小水力発電の導入調査など脱炭素化に向けた取組を推進

#### ◆ わかやま洋上風力検討会運営

本県海域での洋上風力発電の導入に係る検討会などを実施



### II 循環経済への転換

#### ◆ 脱炭素経営モデル推進支援

県内中小企業の脱炭素経営に向けた計画策定などを支援

#### ◆ サーキュラーエコノミー型ビジネスモデル創出

廃棄する使用済み食用油を一般家庭から回収して利活用する仕組みを構築

#### ◆ 県有林経営管理（森林クレジット創出）

県有林における森林クレジットの認証に向けた調査を実施

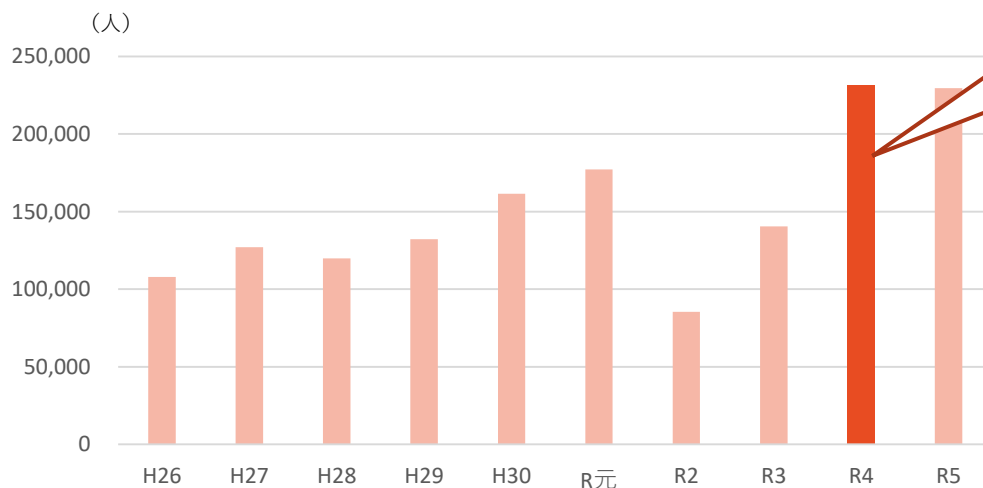


## 取組事例のご紹介④ ～熊野白浜リゾート空港利用促進～

- 空の玄関口である南紀白浜空港は、ワーケーションの普及や観光客の増加を受けて利用者数が増加しています。
- 令和6年より愛称を「熊野白浜リゾート空港」とし、新ターミナルを活用した国際チャーター便の受け入れ等、更なる空港利用の促進と地域の活性化に取り組んでいます。



## 搭乗者数の推移



移動制限のあった  
コロナ禍に  
過去最多の  
20万人超え

## 取組事例のご紹介⑤ ～道路ネットワークの整備～

- 企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進しています。

### 地域をつなぐ道路網の整備

#### 1. 万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

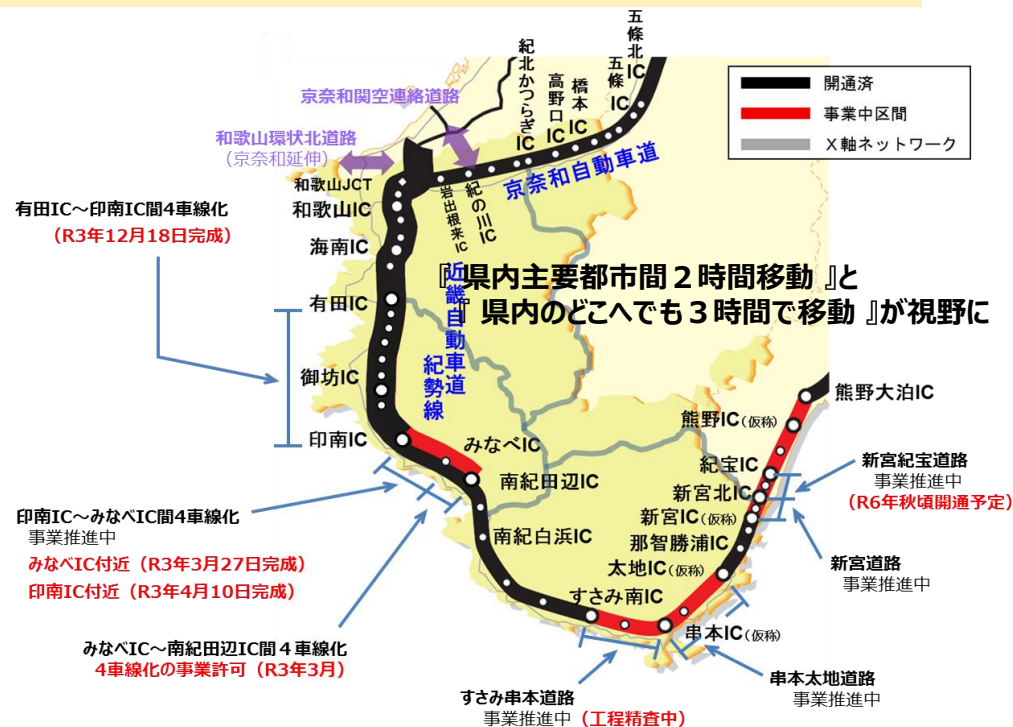
- ▶ すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶ 印南IC～南紀田辺IC間の4車線化など

#### 2. 県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

#### 3. 都市内道路及び基本的生活に不可欠な道路の整備推進

#### 4. 高規格道路の早期事業化

- ▶ 和歌山環状北道路、京奈和関空連絡道路



### 災害に備えた道路網の強靱化

#### 1. 緊急輸送道路等の通行確保

- ▶ 地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

#### 2. 橋梁等の老朽化対策

- ▶ 定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策



落橋防止の設置



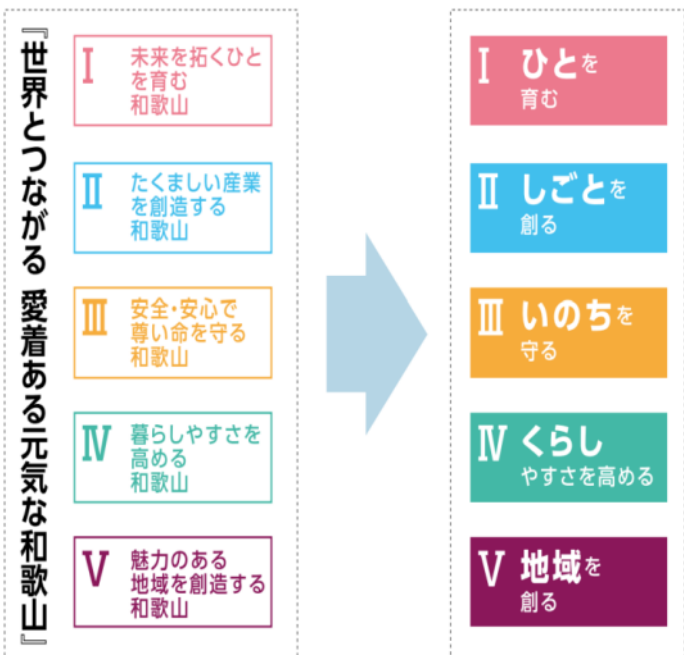
コンクリートの剥離 (橋脚) の補修

# 和歌山県新総合計画の策定

- 現行の「和歌山県長期総合計画」の策定から7年が経過し、人口減少・超高齢化の加速、デジタル技術の進展や脱炭素・循環型社会への構造転換が求められるなど、本県を取り巻く環境が大きく変化、複雑化しています。
- こうした変化や県政の課題に対応するため、現在、2040年頃を展望した新たな計画の策定を進めています。

## 和歌山県 長期総合計画 2017年度 → 2026年度

めざす将来像 将来像に向けた取組 (新たな施策体系)



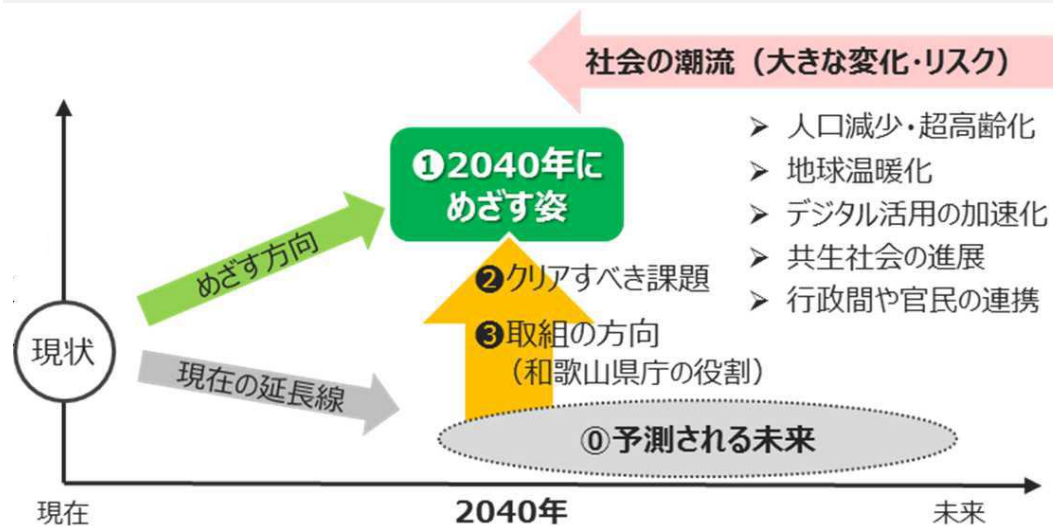
## 和歌山県新総合計画

### ▶ 策定の期間

2024年4月～2025年9月 (2025年9月定例会に議案提出予定)

### ▶ 計画の特徴

- (1) 長期的な展望と機動性を兼ね備えた二層構造の計画
- (2) 社会の潮流 (大きな変化・リスク) に真正面から向き合う計画
- (3) 未来起点で描く計画







# 3 和歌山県の財政状況

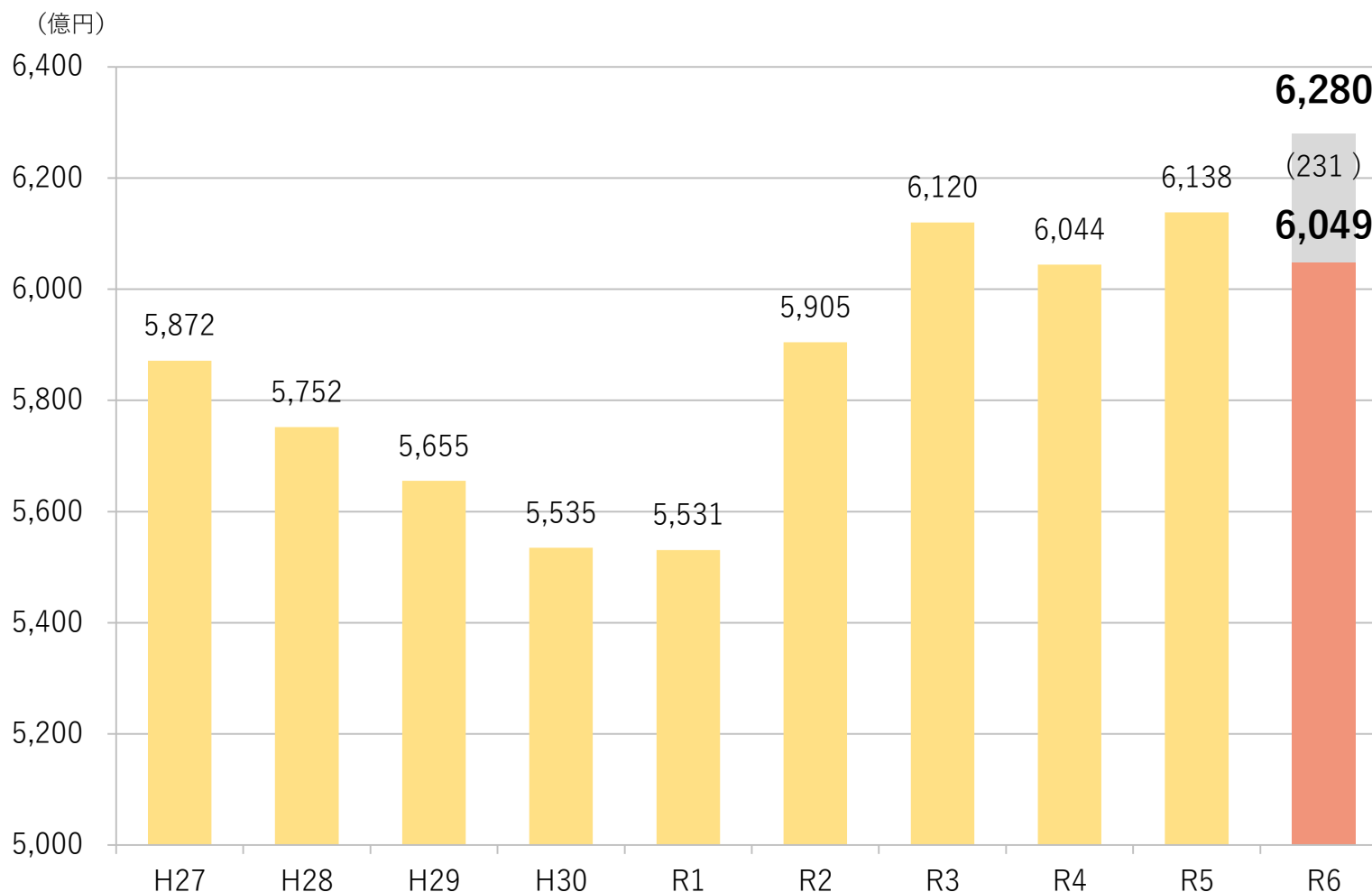
那智の扇祭り（那智勝浦町）

「那智の扇祭り」は、世界遺産に登録された熊野三山の一つである熊野那智大社で、毎年7月14日に行われる祭りです。

熊野の神々が一年に一度、那智山の最も重要な聖地である「那智の滝」に帰り、滝の水と大松明（おおたいまつ）の炎で清められ、神の力を回復させるという“日本一の滝の祭礼”です。

# 令和6年度当初予算の概要

- 令和6年度の一般会計当初予算の規模は、6,280億円（対前年度+142億円、+2.3%）となっています。
  - 特殊要因の231億円（※）を除くと、6,049億円（前年度▲89億円）で過去3番目の規模となりました。
- ※コスモパーク加太対策関連（県土地開発公社借入金の代位弁済）経費



# 令和6年度の重点施策

- こどもから高齢者まですべての人が希望をもって生き生きと暮らせる「ウェルビーイング」な和歌山県を実現するため、5本の柱に沿って予算を編成しました。

1	共働き・共育て・こどもまんなか社会の推進	子供を産み育てやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育料の無償化</li> <li>● 出産子育て伴走型相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育てしやすい職場づくり</li> <li>● 学校給食費の無償化</li> </ul>
		子供にやさしい社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの権利擁護</li> <li>● 地域と学校の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 和歌山こども食堂支援</li> </ul>
2	成長産業の創出	事業者の成長支援・誘致推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業DXの推進</li> <li>● サービス産業誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT企業誘致</li> </ul>
		脱炭素先進県を目指す取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設等への再生可能エネルギーの導入</li> <li>● 森林クレジットの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源循環型ビジネスの推進</li> </ul>
3	農林水産業、観光産業をはじめとする地域産業の強化	農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農林水産業の後継者確保対策</li> <li>● 林道整備の加速化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 獣医師確保対策</li> </ul>
		観光産業の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「聖地リゾート!和歌山」ブランディング</li> <li>● クルーズ客船の誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外市場誘客推進</li> <li>● 熊野白浜リゾート空港利用促進</li> </ul>
		人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語学習環境整備</li> <li>● 外国人材受入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UIターン就職の促進</li> </ul>
4	人口減少下におけるまちづくり	DXによる持続可能な社会システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政DXの推進</li> <li>● 警察行政DXによる治安維持活動の充実、強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル活用による課題解決</li> </ul>
		住みやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振興局の機能強化</li> <li>● 地域公共交通計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● わかやま移住定住総合戦略</li> </ul>
5	安全・安心で心豊かに暮らせる社会づくり	福祉・医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師確保対策</li> <li>● 外国人介護人材受入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康づくり推進</li> </ul>
		教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICTを活用した教育の推進</li> <li>● 不登校対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化芸術と触れ合う機会の創出</li> <li>● 夜間中学の推進</li> </ul>
		防災・減災、県土の強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレトレーラー、防災コンテナの導入</li> <li>● 住宅耐震化の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村のドローン整備支援</li> <li>● インフラ整備の充実</li> </ul>

# 令和6年度当初予算（歳入）の概要

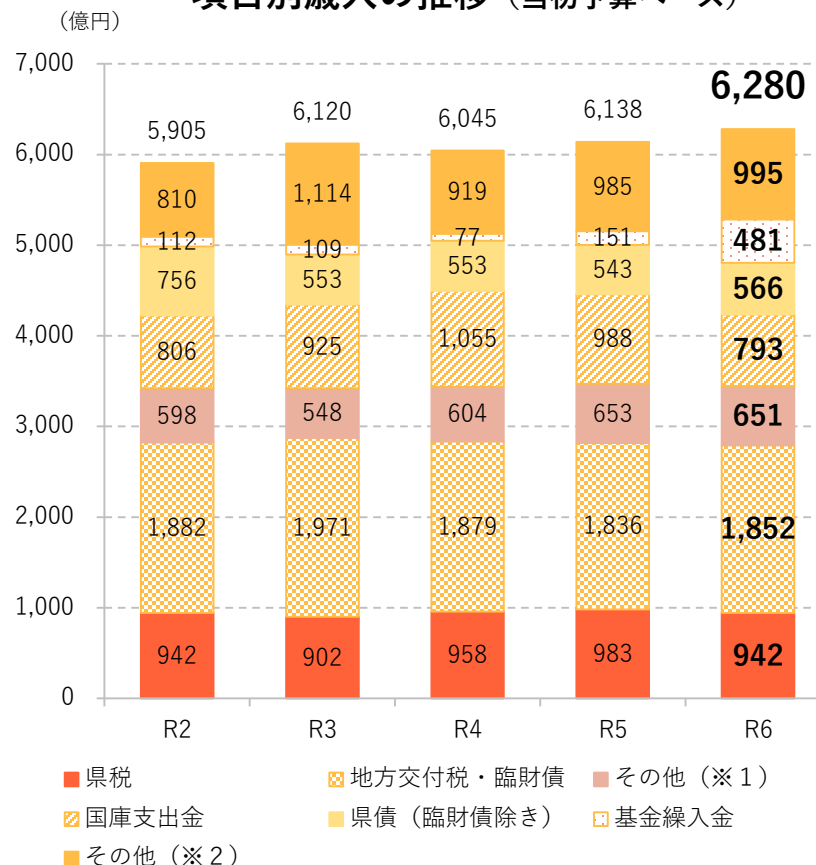
- 県税収入は減少する見込みである一方、実質的な地方交付税（地方交付税・臨時財政対策債）は増加する見込みであり、一般財源総額は前年度と同水準となっています。

		R 5 当初	R 6 当初	増減額	増減率
一般財源	県税	983 億円	<b>942 億円</b>	▲ 41 億円	▲ 4.1 %
	地方交付税	1,796 億円	<b>1,842 億円</b>	46 億円	2.6 %
	臨時財政対策債	40 億円	<b>10 億円</b>	▲ 30 億円	▲ 75.0 %
	その他（※1）	653 億円	<b>651 億円</b>	▲ 2 億円	▲ 0.3 %
	小計	3,472 億円	<b>3,445 億円</b>	▲ 27 億円	▲ 0.8 %
国庫支出金		988 億円	<b>793 億円</b>	▲ 195 億円	▲ 19.7 %
県債（臨財債除き）		543 億円	<b>566 億円</b>	24 億円	4.4 %
基金繰入金		151 億円	<b>481 億円</b>	329 億円	217.5 %
その他（※2）		985 億円	<b>995 億円</b>	10 億円	1.1 %
<b>歳入合計</b>		<b>6,138 億円</b>	<b>6,280 億円</b>	<b>142 億円</b>	<b>2.3 %</b>

※1：地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金

※2：交通安全対策交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など

## 項目別歳入の推移（当初予算ベース）

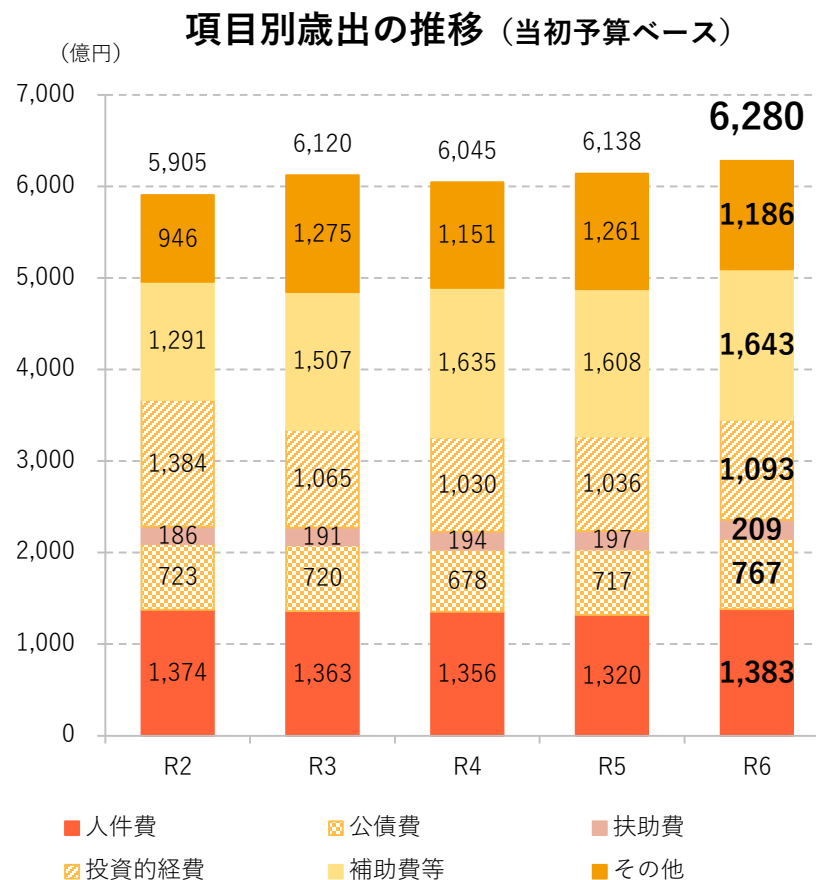


# 令和6年度当初予算（歳出）の概要

- 社会保障関係経費の増加に加え、人件費・公債費など義務的経費が増加しています。
- 新型コロナウイルス対策経費が減少する一方で、令和5年度台風等に伴い災害復旧事業費が増加しました。また、土地開発公社借入金の代位弁済に要する経費として231億円を計上しています。

		R 5 当初	R 6 当初	増減額	増減率
義務的経費	人件費	1,320 億円	<b>1,383 億円</b>	63 億円	4.8 %
	公債費	717 億円	<b>767 億円</b>	50 億円	7.0 %
	扶助費	197 億円	<b>209 億円</b>	12 億円	5.9 %
	小計	2,234 億円	<b>2,358 億円</b>	124 億円	5.6 %
投資的経費		1,036 億円	<b>1,093 億円</b>	58 億円	5.6 %
補助費等		1,608 億円	<b>1,643 億円</b>	35 億円	2.2 %
その他（※）		1,261 億円	<b>1,186 億円</b>	▲ 75 億円	▲ 5.9 %
<b>歳出合計</b>		<b>6,138 億円</b>	<b>6,280 億円</b>	<b>142 億円</b>	<b>2.3 %</b>

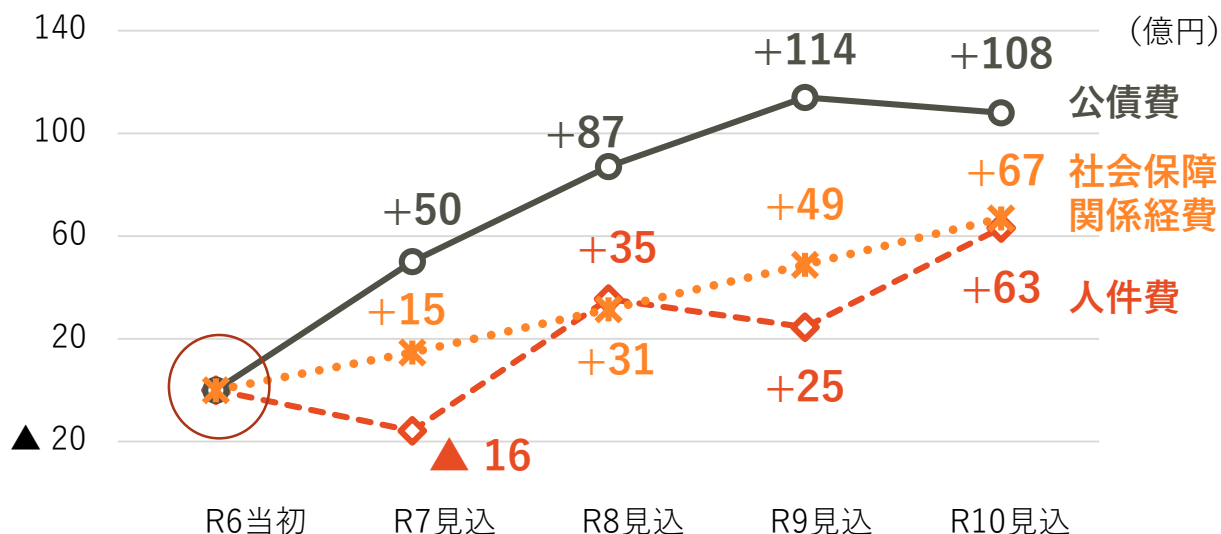
※維持補修費、積立金、貸付金、繰出金など



# 財政収支見通し（令和6～10年度）

- 今後、義務的経費である公債費・人件費、並びに社会保障関係経費について、大幅な増加が見込まれています。
- 財調・県債基金の令和6年度末残高は、財政危機警報時の想定を上回ったものの、物価・金利・賃金の見通しが上振れたこと等により、令和8年度以降の収支見通しは悪化する見通しです。

## I 各経費の推移（見込み）



## II 財調・県債基金の年度末残高（見込み）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
今回試算	236億円	187億円	166億円	102億円	2億円	▲99億円
財政危機警報時	209億円	164億円	127億円	103億円	45億円	▲8億円

※ いずれも通常分の残高であり、公債費の増加額に対して1/2相当の財源捻出（19～25億円/年）を行った場合の試算

# 財政収支見通し（令和6～15年度）

（単位：億円）

	令和6年度 当初予算	令和7年度 見込額	令和8年度 見込額	令和9年度 見込額	令和10年度 見込額	令和11年度 見込額	令和12年度 見込額	令和13年度 見込額	令和14年度 見込額	令和15年度 見込額
<b>歳出 (A)</b>	<b>6,280</b>	<b>6,506</b>	<b>6,072</b>	<b>6,125</b>	<b>6,031</b>	<b>6,138</b>	<b>6,081</b>	<b>6,154</b>	<b>6,201</b>	<b>6,209</b>
人件費	1,383	1,367	1,418	1,407	1,446	1,436	1,481	1,468	1,515	1,527
公債費	767	817	854	881	875	901	897	897	909	889
投資的経費	1,093	1,564	1,064	1,050	989	1,057	1,057	1,057	1,057	1,057
社会保障関係経費	801	815	832	850	868	886	906	926	946	968
その他支出	2,236	1,942	1,903	1,937	1,853	1,858	1,740	1,806	1,773	1,768
<b>歳入 (B)</b>	<b>6,191</b>	<b>6,408</b>	<b>5,929</b>	<b>5,942</b>	<b>5,857</b>	<b>5,942</b>	<b>5,874</b>	<b>5,954</b>	<b>5,981</b>	<b>5,976</b>
県税	942	982	992	1,002	1,011	1,019	1,027	1,034	1,042	1,049
地方交付税・臨時財政対策債	1,852	1,886	1,944	1,962	1,984	2,006	2,011	2,041	2,050	2,061
国庫支出金	793	995	753	747	746	760	763	766	769	772
県債（臨財債・行革債を除く）	526	751	516	549	459	515	515	515	515	515
その他収入	2,078	1,794	1,724	1,683	1,657	1,642	1,559	1,598	1,604	1,578
行革債発行前の収支不足額 (B) - (A)	▲ 89	▲ 97	▲ 143	▲ 183	▲ 174	▲ 196	▲ 206	▲ 200	▲ 220	▲ 234
最終収支不足額	▲ 49	▲ 41	▲ 84	▲ 120	▲ 121	▲ 142	▲ 152	▲ 146	▲ 166	▲ 179
前年度の財調基金積立て による収支改善効果額	-	20	20	20	20	20	20	20	20	20
財調・県債管理基金 年度末残高（見込）	187	166	102	2	▲ 99	▲ 221	▲ 353	▲ 479	▲ 625	▲ 784

注1) 最終収支不足額は、行政改革推進債発行後の収支不足額をいう。

注2) 財調・県債管理基金年度末残高（見込）は、一般会計所管分に限る（満期一括償還県債の積立額等を除く）。

注3) 令和7年度及び令和8年度当初予算編成において、公債費の増加額の2分の1相当額の財源捻出（19～25億円/年）を行った場合の試算。

## 【参考】財政危機警報時（令和5年2月）の財政収支見通し

財調・県債管理基金 年度末残高（見込）	164	127	103	45	▲ 8	▲ 68	▲ 131	▲ 198	▲ 286
------------------------	-----	-----	-----	----	-----	------	-------	-------	-------

# 令和6年度補正予算の状況（9月補正時点）

- 令和6年度一般会計予算については、9月補正予算までに58.5億円の増額補正を行っています。  
うち物価高騰対応として12.4億円、災害対応として20億円を増額補正しています。
- これらの財源については、地方創生臨時交付金等の国庫支出金などを活用しており、財政調整基金の取崩しは0.6億円となっています。

## 【一般会計】

(億円)

令和6年度補正予算	6月補正	7月専決 (県議補選)	9月補正	合計
<b>補正額（歳出）</b>	<b>4.6</b>	<b>0.3</b>	<b>53.7</b>	<b>58.5</b>
うち物価高騰対応	3.4	—	8.9	<b>12.4</b>
うち災害対応	0.1	—	19.9	<b>20.0</b>
<b>補正額（歳入）</b>	<b>4.6</b>	<b>0.3</b>	<b>53.7</b>	<b>58.5</b>
国庫支出金（臨時交付金含む）	4.1	—	32.3	<b>36.4</b>
地方交付税	—	—	2.1	<b>2.1</b>
その他（県債、分・負担金等）	0.1	0.0	19.4	<b>19.5</b>
財政調整基金取崩し	0.3	0.3	—	<b>0.6</b>



# 普通会計決算の状況

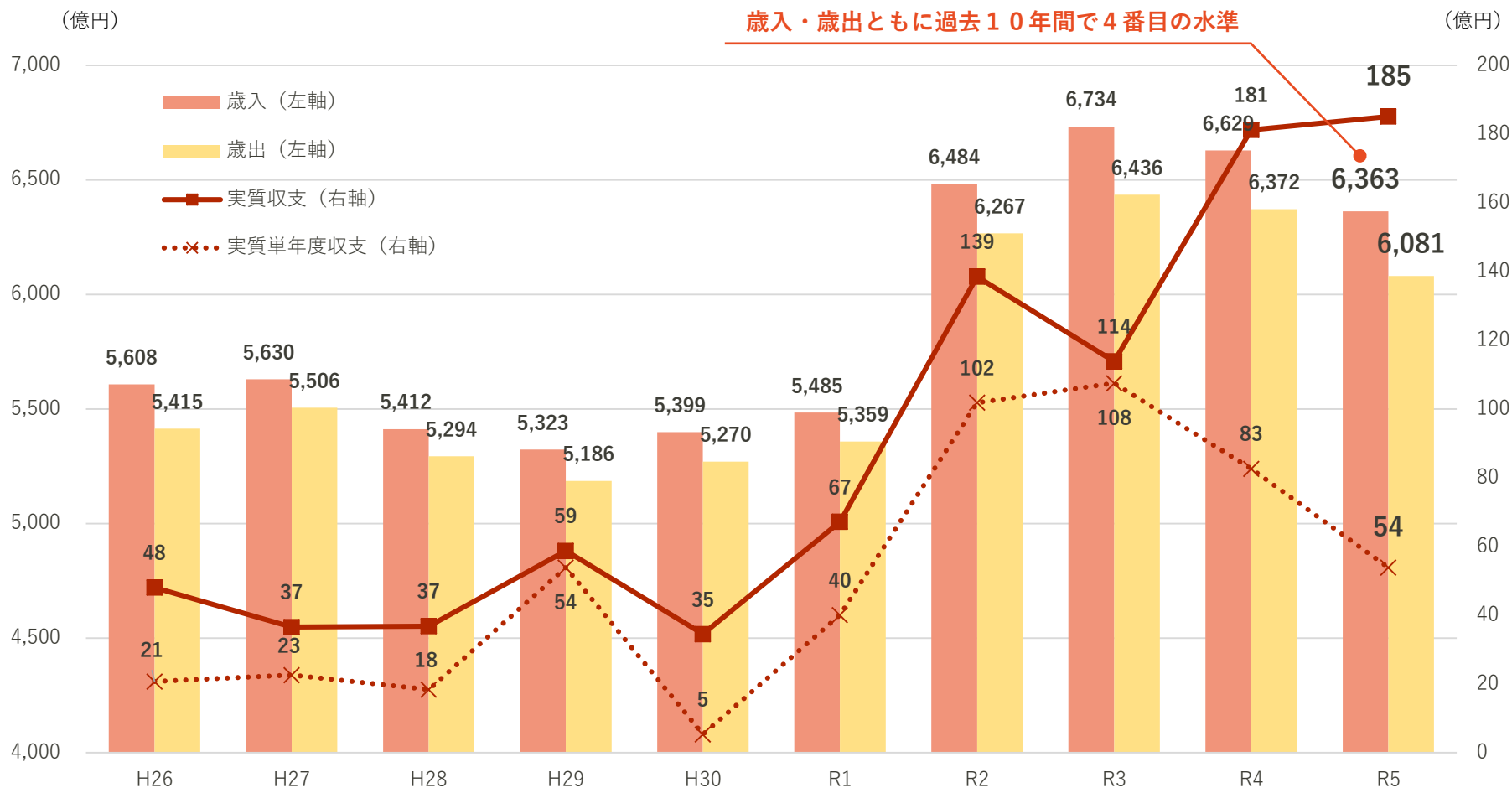
- 令和5年度の決算規模は、歳入6,363億円、歳出6,081億円となりました。
- 新型コロナウイルス感染症対策関連補助金、経費の減少等により、歳入・歳出ともに前年度と比べて減少しています。

項目	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	対前年度増減
<b>収 支 (億円)</b>						
歳入総額	5,485	6,484	6,734	6,629	<b>6,363</b>	▲ 266
歳出総額	5,359	6,267	6,436	6,372	<b>6,081</b>	▲ 292
歳入歳出差引	126	217	298	257	<b>282</b>	+25
翌年度への繰越財源	59	78	184	75	<b>97</b>	+22
実質収支	67	139	114	181	<b>185</b>	+4
実質単年度収支	40	102	108	83	<b>54</b>	▲ 29
<b>残 高 (億円)</b>						
県債残高【一般会計】	10,314	10,488	10,587	10,622	<b>10,625</b>	+3
うち、臨時財政対策債	3,728	3,671	3,628	3,369	<b>3,130</b>	▲ 238
うち、臨時財政対策債除き	6,587	6,817	6,959	7,253	<b>7,494</b>	+241
基金残高	725	671	725	892	<b>994</b>	+102
うち、財政調整・減債基金	209	209	209	224	<b>306</b>	+82
<b>指 標</b>						
標準財政規模(億円)	2,937	2,987	3,139	3,056	<b>3,064</b>	+8
財政力指数	0.333	0.338	0.323	0.318	<b>0.315</b>	▲ 0.003
経常収支比率(%)	94.8	95.2	86.9	93.0	<b>93.0</b>	0.0
<b>健全化判断比率(%)</b>						
実質赤字比率	—	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	—
実質公債費比率	7.5	7.6	7.7	8.4	<b>9.5</b>	1.1
将来負担比率	203.6	204.5	194.6	200.1	<b>202.0</b>	1.9

# 普通会計決算規模・収支の推移

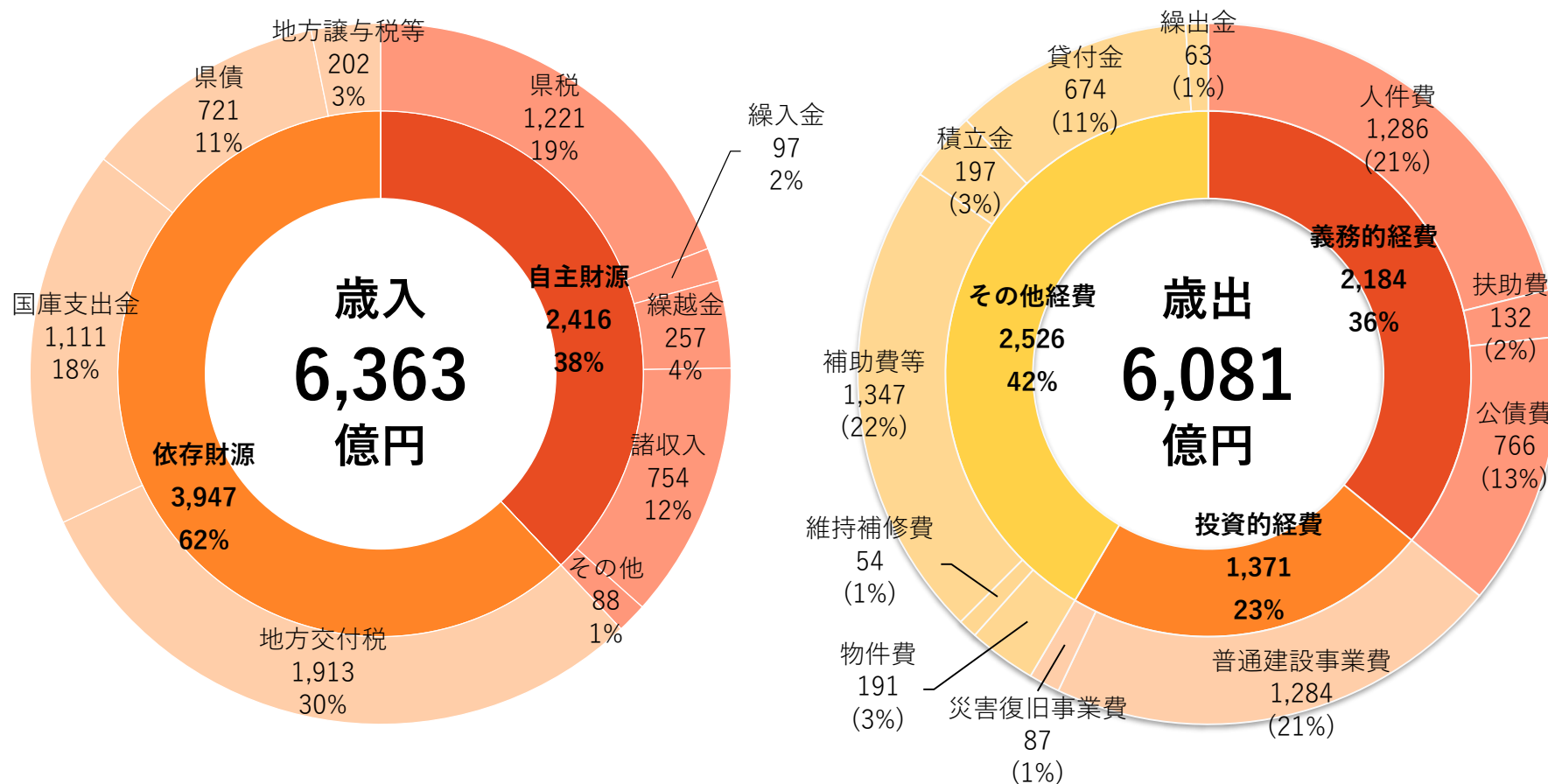
- 令和5年度の実質収支は185億円、実質単年度収支は54億円の黒字となりました。

※ 実質収支及び実質単年度収支の一部には、決算の確定により歳入超過となった新型コロナウイルス感染症対策関連経費に係る国庫支出金が含まれており、今後国に返納する必要があります。



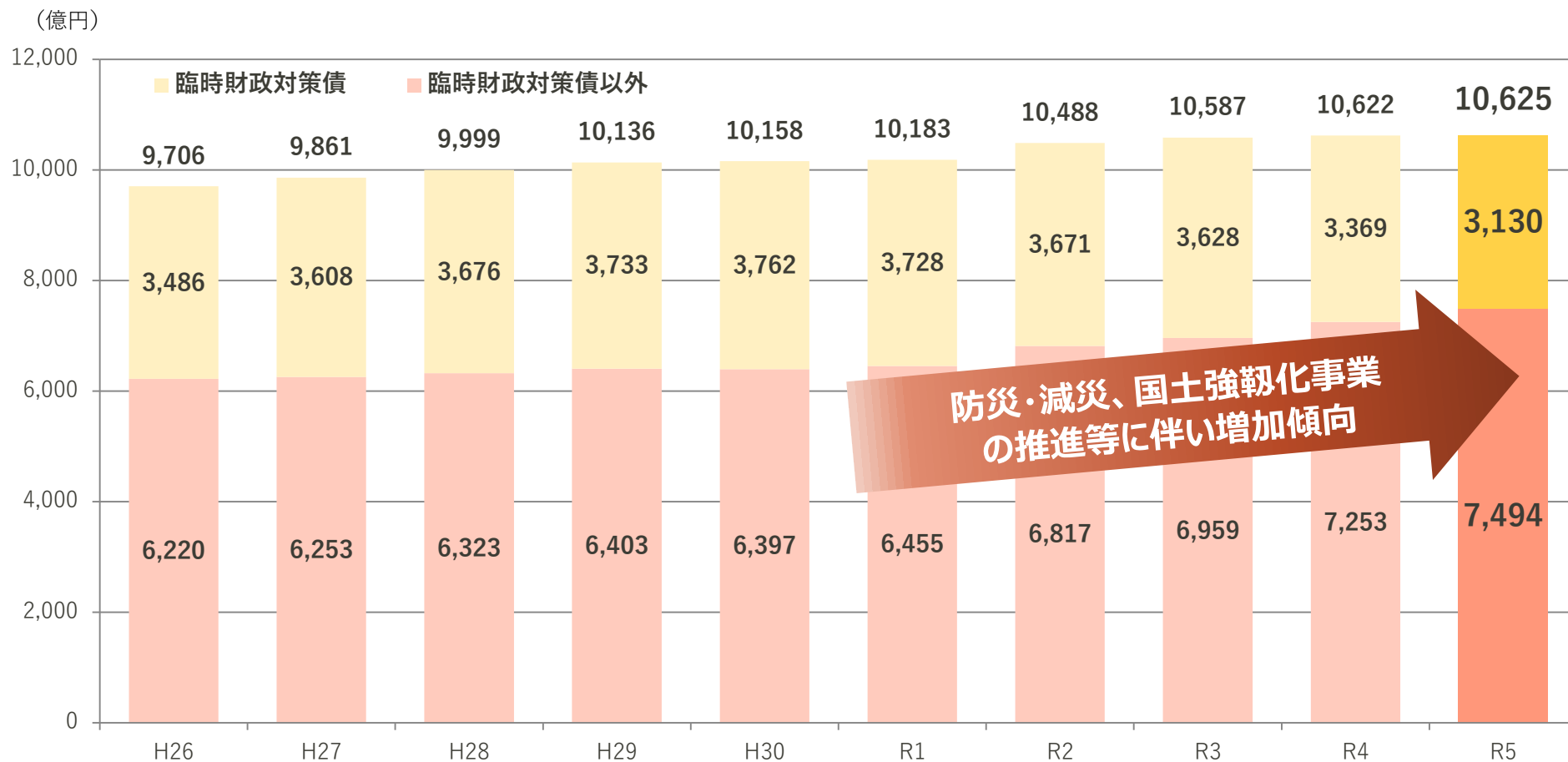
# 令和5年度普通会計歳入歳出決算の状況

- 歳入決算は、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の減少等により、前年度と比べて266億円の減少しました。
- 歳出決算も、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減少等により、前年度と比べて292億円の減少しています。
- 一方、歳出の性質別内訳では、台風等の影響による災害復旧事業費の増加により投資的経費は39億円、県債の元利償還額の増加等により公債費は13億円、前年度と比べて増加しています。



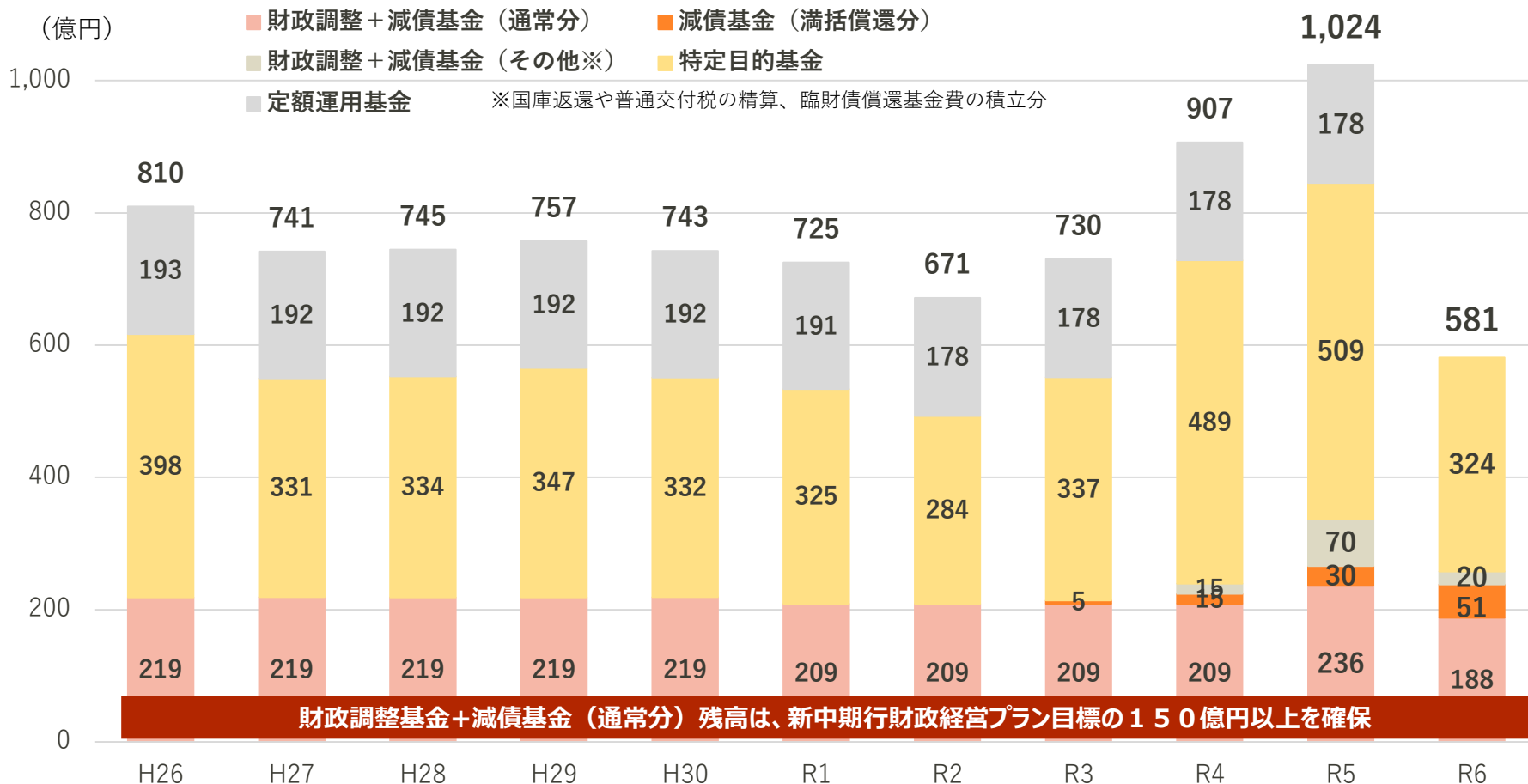
# 県債残高の推移（一般会計）

- 一般会計における臨時財政対策債を除く県債残高は、令和5年度末で7,494億円となっています。
- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進等に係る県債の発行等により、前年度末から241億円増加しています。



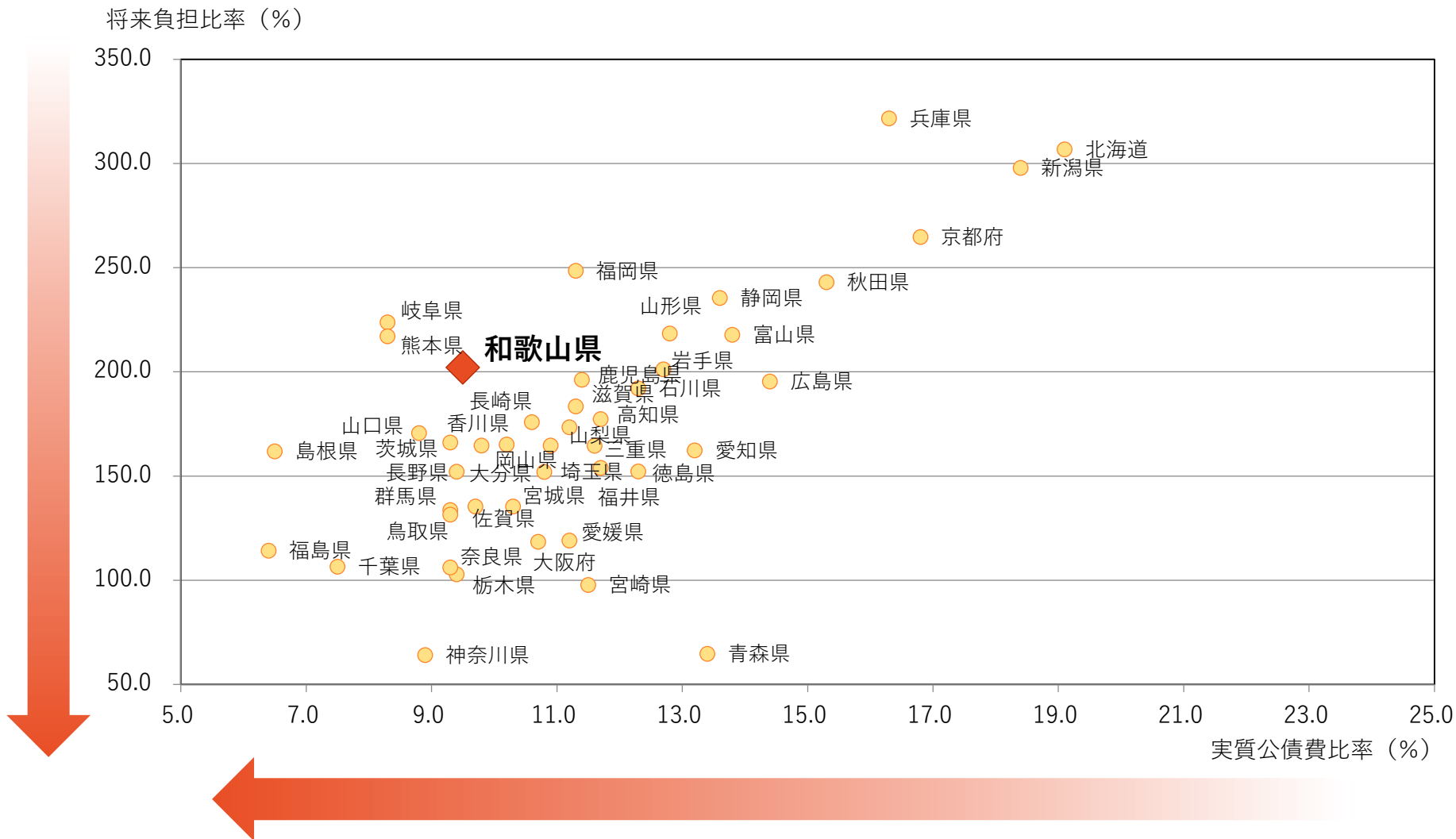
# 基金残高の推移

- 財政調整基金と減債基金（通常分）の残高合計は、令和5年度決算において236億円を確保しています。
- 令和6年度予算（※）においても、残高合計は188億円を見込んでおり、新中期行財政経営プラン（R4～R8）における残高目標150億円を上回る額を確保する見込みです。 ※9月補正予算までの積立・取崩額を反映した額
- 市場公募地方債の満期一括償還分については、別枠で発行翌年度から毎年度20分の1ずつ積立っています。



# 令和5年度健全化判断比率（速報値）の状況

- 令和5年度の実質公債費比率は9.5%（全国16位）、将来負担比率は202.0%（全国36位）となりました。
- いずれも財政健全化計画の策定が義務付けられる早期健全化基準を下回っています。



# 令和5年度公営企業会計（法適用）の決算概要

- 健全化法上の資金不足比率について、資金不足は発生していません。

	概要	収益的収支			資本的収支			資金不足比率 (健全化法)
		事業収益	事業費用	収支差引	資本収入	資本費用	収支差引 (※)	
病院	精神保健福祉法第19条の7に基づき、県立こころの医療センター（300床）を設置、運営 ・ R5年度年延べ入院患者数：52,689人 年延べ外来患者数：25,118人	2,235	2,081	155	343	392	▲ 49	—
工業用水道	紀の川及び有田川を水源として利用し、和歌山市、海南市、有田市の事業者へ工業用水を供給 ・ R5年度年間給水量：56,182千m <sup>3</sup>	768	619	149	538	655	▲ 117	—
土地造成	企業誘致推進のため、和歌山市（雑賀崎・西浜工業団地）、御坊市（日高港・御坊工業団地）にある企業用地の分譲を推進	311	61	250	304	584	▲ 280	—
流域下水道	紀の川流域の自然環境の保全や生活環境の改善のため、紀の川（伊都処理区）・紀の川中流（那賀処理区）流域において流域下水道事業を実施 ・ R5年度年間総処理水量：7,499千m <sup>3</sup>	2,529	2,557	▲ 28	1,275	1,275	—	—

※資本的収支の不足額は内部留保資金等で補てんしています。



# 4 市場公募債発行計画

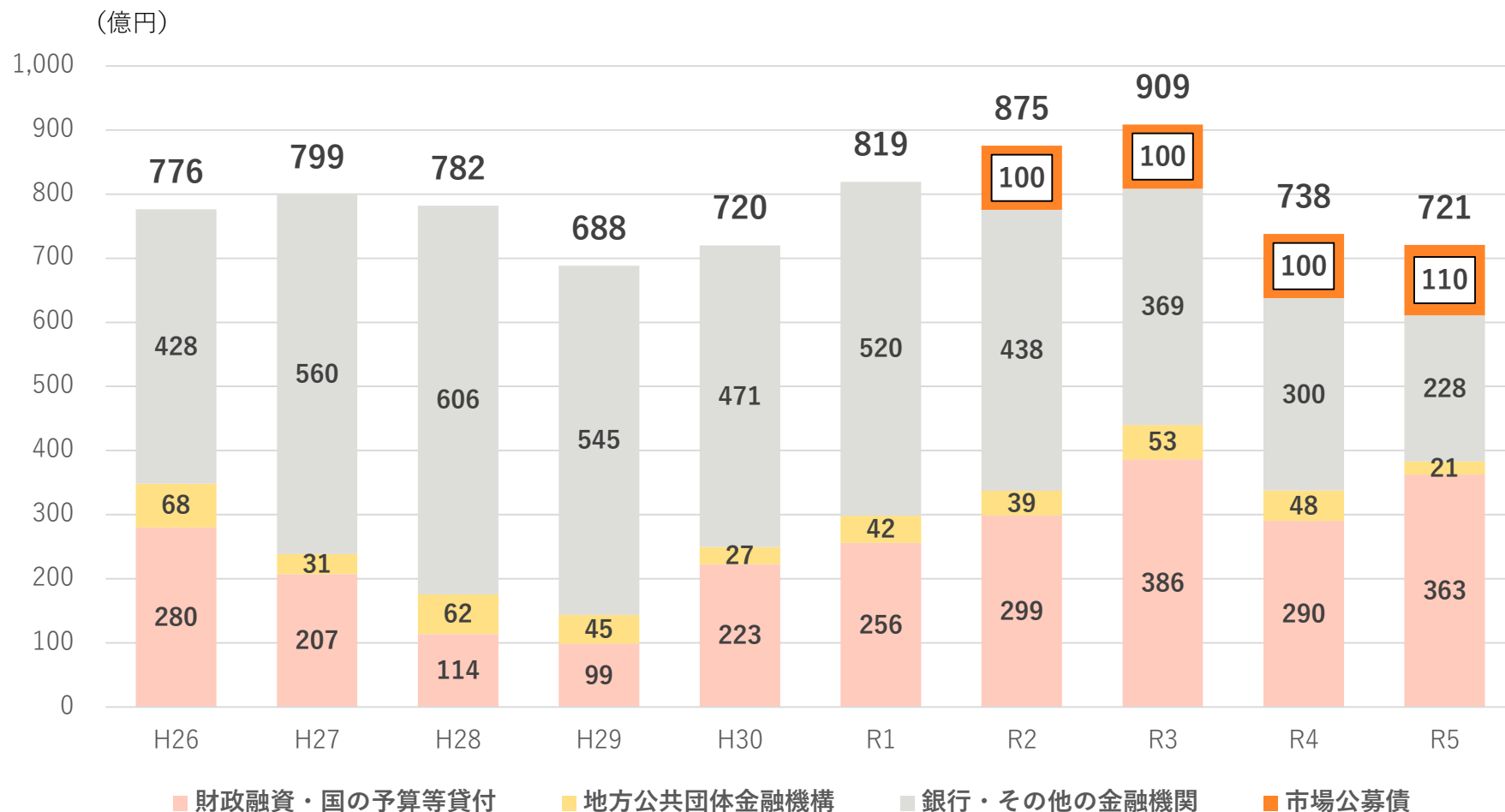
## 奥の院（高野町）

奥の院は、弘法大師空海の御廟がある場所で、壇上伽藍と並ぶ高野山の二大聖地の一つで、高野山の信仰の中心とされています。弘法大師は853年に62歳で入定し、以来1200年にわたってこの地で永遠の瞑想を続けていると信じられています。

樹齢千年を超える杉木立が生い茂る参道には、皇族や大名、文人、庶民など、さまざまな階層の人々の供養塔や墓石が並んでいます。



■ 本県では、令和2年度より全国型市場公募債、令和5年度よりグリーン共同発行市場公募地方債により資金調達を行っています。



# 市場公募債の発行計画

- 令和6年度は、100億円の市場公募債を発行する予定です。
- 来年度以降も、年1回の発行を視野に継続的に発行していく予定です。

発行額 **100億円**

年限 **10年（満期一括償還）**

発行日 **令和6年11月29日（金）**

発行方式 **シンジケート団引受方式**

## 令和6年度引受シンジケート団

銀行団	シェア (%)	備考
株式会社紀陽銀行	23.0	代表幹事
株式会社みずほ銀行	22.0	副幹事
きのくに信用金庫	3.0	
株式会社三井住友銀行	1.0	
株式会社三菱UFJ銀行	1.0	
<b>銀行団合計</b>	<b>50.0</b>	

証券団	シェア (%)	備考
野村證券株式会社	9.0	証券幹事
SMBC日興証券株式会社	9.0	
大和証券株式会社	9.0	
みずほ証券株式会社	9.0	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	9.0	
岡三証券株式会社	2.0	
東海東京証券株式会社	2.0	
岩井コスモ証券株式会社	1.0	
<b>証券団合計</b>	<b>50.0</b>	

# グリーン共同発行市場公募地方債への参加

- 地方債市場におけるグリーンボンド等のSDGs債（ESG債）への需要の高まりを受け、令和5年度から共同発行方式でグリーンボンドを発行しており、和歌山県もこれに参加しています。

年限	10年（満期一括償還）
発行額	総額1,200億円程度（年度を通じて2回の発行を予定）
主幹事会社	野村證券株式会社（事務、ストラクチャリング・エージェント）、 みずほ証券株式会社、大和証券株式会社、しんきん証券株式会社
参加団体 (44団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道</li> <li>・ 岩手県</li> <li>・ 宮城県</li> <li>・ 福島県</li> <li>・ 茨城県</li> <li>・ 栃木県</li> <li>・ 埼玉県</li> <li>・ 千葉県</li> <li>・ 新潟県</li> <li>・ 富山県</li> <li>・ 福井県</li> <li>・ 山梨県</li> <li>・ 長野県</li> <li>・ 岐阜県</li> <li>・ 静岡県</li> <li>・ 愛知県</li> <li>・ 京都府</li> <li>・ 大阪府</li> <li>・ 兵庫県</li> <li>・ 奈良県</li> <li>・ <b>和歌山県</b></li> <li>・ 島根県</li> <li>・ 岡山県</li> <li>・ 広島県</li> <li>・ 佐賀県</li> <li>・ 長崎県</li> <li>・ 熊本県</li> <li>・ 大分県</li> <li>・ 宮崎県</li> <li>・ 鹿児島県</li> <li>・ 札幌市</li> <li>・ 仙台市</li> <li>・ さいたま市</li> <li>・ 千葉市</li> <li>・ 川崎市</li> <li>・ 新潟市</li> <li>・ 静岡市</li> <li>・ 浜松市</li> <li>・ 京都市</li> <li>・ 堺市</li> <li>・ 岡山市</li> <li>・ 広島市</li> <li>・ 北九州市</li> <li>・ 福岡市</li> </ul>

## 令和5年度資金 充当事業例



緊急輸送道路整備・法面対策事業



河川修繕・堤防改修事業

## 問い合わせ先

和歌山県 総務部 総務管理局 財政課 企画班  
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電話 : 073-441-2161  
FAX : 073-422-8384  
E-mail : e0104001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

## 財政・県債に関する情報

和歌山県ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010400/index.html>